

令和6年度 金沢市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和7年5月

金沢市（石川県）

計画期間：令和4年4月～令和9年3月（5年）

1. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和6年度終了時点(令和7年3月31日時点)の中心市街地の概況

金沢市では、旧法計画及び認定計画（第1期、第2期、第3期）に基づく、中心市街地活性化の取組により、都市機能の低下を食い止め、伝統と賑わいが調和した金沢ならではのまちづくりを進めており、令和3年度には、住む人と訪れる人が「しあわせ」を共創する持続可能なまちを実現することを目指し、「住む人も訪れる人にも快適で楽しいまちづくり」「人も地球も元気になるまちづくり」「文化やまちの個性を磨き高めるまちづくり」を基本的な方針とする第4期認定計画を策定した。

計画の3年目となる令和6年度は、新型コロナウイルス感染症が一応の収束を見せた一方、能登半島地震による来街者の減等の影響がある状況ではあるが、地域の事業者への継続的な支援や、賑わい創出イベントの再開、インバウンドの増加などにより、目標値には届かないものの、市文化施設の入館者が増加するなど、徐々に中心市街地は賑わいを取り戻しつつある。

また、まちなかマンション購入奨励金制度等の活用によるまちなか居住が進んでおり、45歳未満の年間社会動態が回復傾向にあるが、目標値には届いていない現状となっている。

今後は、能登半島地震の影響を注視し、早期復興を進めていくとともに、都市再生緊急整備地域指定等を進め、民間の都市開発を含めた社会経済活動を活発化させるほか、引き続き各種取組を多面的、重層的に展開していく。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（基準日：毎年度1月1日）

（中心市街地区域）	令和3年度 (計画前年度)	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
人口	53,021人	52,254人	51,621人	50,989人		
人口増減数	479人	767人	633人	632人		
自然増減数	701人	677人	709人	703人		
社会増減数	222人	90人	76人	71人		
転入者数	2,000人	1,936人	1,954人	2,032人		

2. 令和6年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

金沢市と協議会との間において、現在に至るまで基本計画の進捗状況についての意見交換を実施しており、事務局である金沢商工会議所や(株)金沢商業活性化センターなどと連携をとりながら基本計画に基づいた取り組みが進められている。

令和6年度は現行の第4期基本計画の3年目であったが、4つの数値目標のうち3つの項目において基準値を下回る結果となった。しかしながら、能登半島地震による来街者の減少が見られるにも関わらず、文化施設の来館者が増加するなど、誘客施策が効果をもたらしており、一定の評価に値するものと思われる。

今後も市街地再開発事業やまちなか定住促進事業、文化施設活性化事業などの主要事業が着実に遂行されることはもちろんであるが、能登半島地震からの早期復興に向けた取組を推進するとともに、中心市街地の更なる活性化が実現することを期待する。

. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況 1	目標達成に関する見通し 2	
						前回の見通し	今回の見通し
まちなかの定住者数を増やす	中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態	15人/年 (H29～R2平均)	60人/年 (R8)	46人 (R6)	C	A	A
ウォーカブルなまちなかを形成する	主要商業地の休日の歩行者・自転車交通量	30,836人 (R2)	43,289人 (R8)	26,118人 (R6)	C	A	A
公共交通を優先したまちなかの交通環境を整える	まちなかにおける自動車分担率	45% (H30)	42% (R8)	48% (R6)	C	A	A
歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	中心市街の市文化施設(14施設)と金沢未来のまち創造館の利用者数	171,206人 (R2)	357,000人 (R8)	284,029人 (R6)	B	A	A

<基準値からの改善状況(1)>

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類(2)>

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A：目標達成が見込まれる

B：目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる

C：目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない

「<基準値からの改善状況(1)>、<目標達成に関する見通しの分類(2)>ともに、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。(例：a、b、c)」

2. 目標達成見通しの理由

「中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態」

基準値を下回ったものの、数値が回復傾向にあり、都市再生緊急整備地域指定を進め、民有の大規模用地・跡地等における民間都市開発等の促進・機運醸成がなされることで、まちなかにおける人口増加が見込まれるところであり、引き続き事業を継続することにより、目標達成をめざす。

「主要商業地の休日の歩行者・自転車通行量」

令和6年1月に発生した能登半島地震の影響を受けて来街者は大きく減少したが、地震により損壊した建造物の復旧支援への取組や地元商店街と連携した新たな取組により客足を取り戻していくとともに、跡地の先行利活用を促進していくことで、目標達成を

めざす。

「まちなかにおける自動車分担率」

新型コロナウイルス感染拡大前の水準である基準値は下回ったものの、「自転車利用促進事業」における「まちのり」の利用者数の増加や、「パーク・アンド・ライド駐車場」の利用者も増加してきている。令和7年度から第3期「まちのり」の運営開始により、利用者のさらなる増加に向けた取組を強化しており、目標の達成は可能と見込まれる。

「中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数」

昨年1月に発生した能登半島地震の直後には、一部の文化施設を一時閉館するなど利用者数が減少したが、石川県観光連盟と連携した取組が大きな効果をもたらし、全体をとおして前年よりも利用者数が増加している。

また、金沢未来のまち創造館の利用者数はすでに目標値を上回っており、引き続き事業を継続することにより目標の達成は可能と見込まれる。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

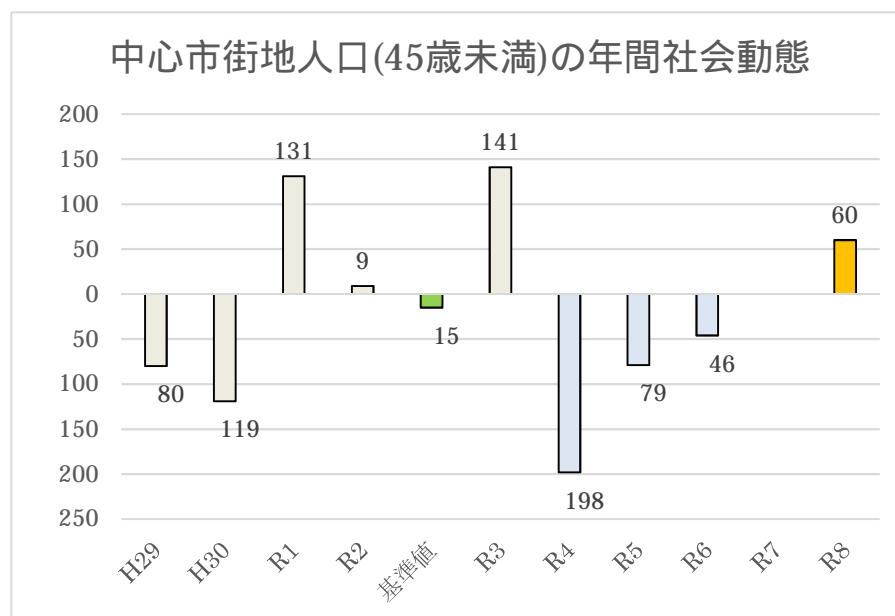
なし

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

（1）「中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態」

目標設定の考え方認定基本計画 P.52～P.54 参照

調査結果と分析



調査方法：住民基本台帳より集計

調査月：令和7年1月

調査主体：金沢市

調査対象：中心市街地活性化基本計画区域内の45歳未満の住民

分析内容

令和4年度以降は転出超過となっているが、市全体の人口が減少している中、徐々に改善してきている。今後も引き続き能登半島地震の影響等による国内外からの転入出の動きを注視していく必要がある。

目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

. まちなか定住促進事業（金沢市）

事業実施期間	平成 10 年度～【実施中】												
事業概要	まちなか区域において、戸建て住宅の取得や分譲マンションの購入に助成する。												
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし												
事業目標値・最新 値及び進捗状況	<p>○まちなかマンション購入奨励金制度における 認定マンション住戸数 R1～R6：183戸 今後片町四番組海側地区において分譲マンションを含む複合施設が計画されている。</p> <p>○各種奨励金制度活用状況（中心市街地のみ） 目標値：95人（H28～R2 平均）</p> <table border="1"><thead><tr><th>制度</th><th>R6 利用者数</th><th>うち 45 歳未満</th></tr></thead><tbody><tr><td>まちなかマンション購入</td><td>38 人</td><td>28 人</td></tr><tr><td>住宅取得</td><td>66 人</td><td>46 人</td></tr><tr><td>計</td><td>104 人</td><td>74 人</td></tr></tbody></table>	制度	R6 利用者数	うち 45 歳未満	まちなかマンション購入	38 人	28 人	住宅取得	66 人	46 人	計	104 人	74 人
制度	R6 利用者数	うち 45 歳未満											
まちなかマンション購入	38 人	28 人											
住宅取得	66 人	46 人											
計	104 人	74 人											
事業の今後につ いて	引き続き、各種奨励金制度の周知を進め、まちなかへの居住を促進する。												

. 「学生のまち・金沢」推進事業（金沢市）

事業実施期間	平成 22 年度～【実施中】
事業概要	<ul style="list-style-type: none">・金沢学生のまち市民交流館を拠点に、学生団体等と協働し、まちなかの商店街との連携イベント等を実施・まちなかに居住し地域でのコミュニティ活動を行う学生に奨励金を交付（R3～）
国の支援措置名 及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和4年4月～令和9年3月）
事業目標値・最新 値及び進捗状況	<p>評価：多数のイベント開催により、まちなかの賑わい創出を促進している。</p> <p>○金沢まちづくり学生会議の活動</p> <ul style="list-style-type: none">・OPENCITY in KANAZAWA の開催 (目標値：80名 参加者 68名)

	<ul style="list-style-type: none"> ・木倉町ふうりんまつりへの参加 ・まちなか学生まつりの開催（来場者約 1,500 名） <p>○学生団体 SNOU の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的空間再編コンペティションの開催 	
事業の今後について	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を継続して行い、まちなかの賑わいを創出するとともに、金沢への愛着を深めることで定住を促進する。 	

目標達成の見通し及び今後の対策

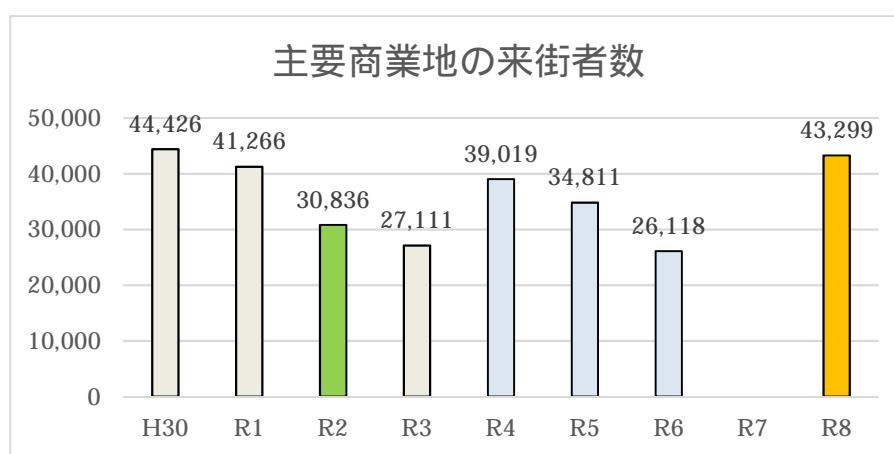
取組（事業等）の進捗状況は概ね予定どおりだが、令和 6 年度の実績値は、市全体の人口減の影響もあり基準値を下回った。しかし、令和 5 年度より回復傾向であることに加え、市街地再開発事業の計画を順調に遂行していくことでまちなか定住促進をねらうとともに、都市再生緊急整備地域指定を目指すなかで、経済の活性化や都市機能の向上をめざし、まちなかにおける人口増加につなげていく。

引き続き戸建住宅・共同住宅等への支援制度を継続し、制度の周知に加え、金沢ならではの暮らしを首都圏に向けて発信するとともに、移住希望者の受入体制を充実させるなど、目標達成に向けて最大限に努力していく。

（2）「主要商業地の休日の歩行者・自転車通行量」

目標設定の考え方認定基本計画 P.55～P.58 参照

調査結果と分析



年	単位：人
H30	44,426
R1	41,266
R2	30,836
R3	27,111
R4	39,019
R5	34,811
R6	26,118
R7	
R8	43,289 (目標値)

調査方法：毎年 10 月における中心市街地内主要商業地 7 か所の来街者の合計値（祝休日 1 日平均）

（調査対象：20 歳以上の歩行者・自転車数（外国人を除く））

調査月：令和 6 年 10 月

調査主体：金沢市

調査地点	祝休日 / 日
金沢百番街前	5,801
ガーデンホテル前	5,420
コラボン前	369
エムザ前	2,480

大和前	5,833
プレーゴ前	4,407
砂場ビル前	1,808
合計	26,118

分析内容

能登半島地震の発生に加え、燃料費等の高騰に起因する物価高騰等により消費者マインドの冷え込みや、EC市場の拡大により、来街者は減少しているものと考えられる。

目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

. 片町四番組海側地区市街地再開発事業（市街地再開発組合）

事業実施期間	令和 6 年度～令和 11 年度【実施中】
事業概要	片町地区の老朽ビル更新のため、民間による再整備を行う。
国の支援措置名 及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）（国土交通省）（令和 6 年度～令和 11 年度）
事業目標値・最新 値及び進捗状況	目標：再開発事業の実施及び共同住宅、商業施設等、定住促進や賑 わい創出施設を整備 平成 29 年度に市街地再開発準備組合を設立。令和元年度より基本 計画の策定を進め、令和 6 年度に都市計画決定の告示を行った。 老朽ビルが多く残る都心軸において、新たに共同住宅や商業施設を 整備することにより、まちなかの定住促進と賑わい創出に寄与す る。
事業の今後につ いて	令和 7 年度 組合設立（事業計画）認可予定

. 金沢未来のまち創造館交流・創造推進事業（金沢市）

事業実施期間	令和 3 年度～【実施中】
事業概要	「金沢未来のまち創造館」を活用し、最先端技術を活用した新たな ビジネスや食・工芸の付加価値の創出と子供たちの独創力の育成を 推進する。
国の支援措置名 及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和 5 年度～令和 8 年度）
事業目標値・最新 値及び進捗状況	○金沢未来のまち創造館利用者数 目標値：18,109 人 R6：26,759 人
事業の今後につ いて	価値創造拠点として各事業を推進していくとともに、それぞれの事 業を連携させて新たな価値の創出を図る。

. まちなか定住促進事業（金沢市）

事業実施期間	平成 10 年度～【実施中】
--------	----------------

事業概要	まちなか区域において、戸建て住宅の取得や分譲マンションの購入に助成する。													
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし													
事業目標値・最新 値及び進捗状況	<p>○まちなかマンション購入奨励金制度における 認定マンション住戸数 R1～R6：183戸 今後片町四番組海側地区において分譲マンションを含む複合施設が計画されている。</p> <p>○各種奨励金制度活用状況（中心市街地のみ） 目標値：95人（H28～R2平均）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>制度</th> <th>R6 利用者数</th> <th>うち 45歳未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>まちなかマンション購入</td> <td>38人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>住宅取得</td> <td>66人</td> <td>46人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>104人</td> <td>74人</td> </tr> </tbody> </table>	制度	R6 利用者数	うち 45歳未満	まちなかマンション購入	38人	28人	住宅取得	66人	46人	計	104人	74人	
制度	R6 利用者数	うち 45歳未満												
まちなかマンション購入	38人	28人												
住宅取得	66人	46人												
計	104人	74人												
事業の今後につ いて	<p>取組（事業等）の進捗状況は概ね予定どおりである。</p> <p>まちなかマンション購入奨励金制度を活用した45歳未満のマンション購入奨励金制度の活用が目標値を超えるなど堅調であることから、引き続き取組（事業等）の周知を図るとともに、居心地のいい、歩いて楽しいまちなかを形成するため、バリアフリーや無電柱化等の歩けるまちの整備や、犀川周辺エリアやまちなかの小規模公園等の公共空間を利活用する事業等を総合的かつ計画的に推進することにより、目標達成は可能であると判断する。</p>													

目標達成の見通し及び今後の対策

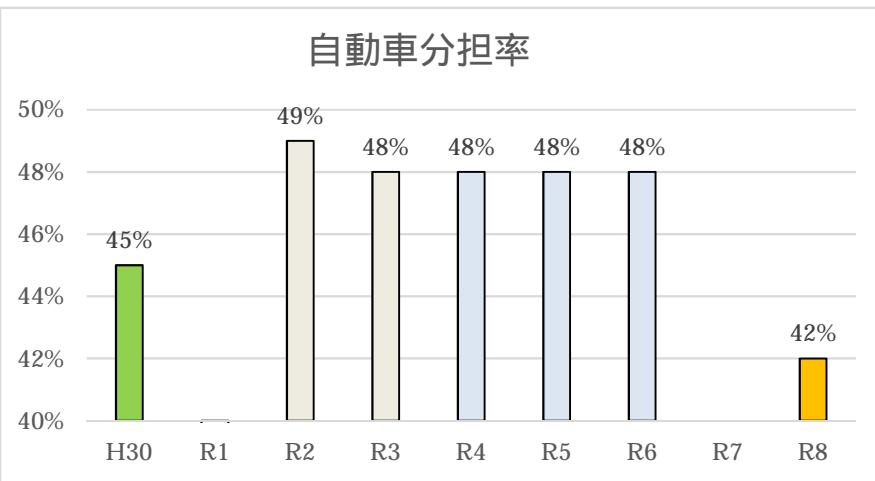
取組（事業等）進捗状況は概ね予定どおりだが、令和6年度の実績値は基準値を下回った。令和6年1月に発生した能登半島地震の影響が大きく表れているものと考えられる。しかし、地震により損壊した建造物の復旧支援を実施し、まちなみの復興を図るとともに、空き店舗の解消につながるデジタル企業の誘致や商店街と連携したイベントの開催などの新たな取組により、中心市街地の活性化と来街者の増加につなげ、目標達成をめざす。

今後は、市街地再開発を計画的に進め、まちなかの定住促進や賑わい創出をめざすことに加え、跡地の先行利活用を促進していくことで、金沢の魅力の維持向上を図る。

(3)「まちなかにおける自動車分担率」

目標設定の考え方認定基本計画 P.62～P.65 参照

調査結果と分析



調査方法：まちなかにおける移動手段のモニタリング調査

調査月：9～10月

調査主体：金沢市

調査対象：まちなかの発生交通量のうち、自動車によるものの割合

分析内容

新型コロナウイルス感染拡大後からバス等公共交通利用を避ける傾向が続いていること、燃料費の高騰に起因する公共交通機関の運賃高騰により利用者が減少しているものと考えられる。

目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・自転車利用推進事業（金沢市）

事業実施期間	平成20年度～【実施中】		
事業概要	金沢市自転車活用推進計画の具現化として、自転車通行空間の整備、自転車駐輪環境の整備、公共シェアサイクル「まちのり」の運営、自転車ルールの遵守の啓発を実施する。		
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし		
事業目標値・最新値及び進捗状況	年度	月額会員数	月額会員の1日平均利用回数
	目標値	1,081	0.89
	R6	994	1.85
事業の今後について	<p>（まちのり関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3期まちのりの運営 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車走行指導帯等の整備 ・駐輪場の照明のLED化、防犯カメラの設置 ・自転車ルールマナー、ヘルメット着用促進等の啓発活動 		

- ・通勤時パーク・アンド・ライド（金沢都市圏パーク・アンド・ライドシステム協議会）
- 観光期パーク・アンド・ライド（パーク・アンド・ライドシステム実行委員会）
- 休日等パーク・アンド・ライド（金沢市）

事業実施期間	平成 8 年度～【実施中】																			
事業概要	通勤時・観光期等の交通渋滞の緩和を目的として、郊外の民間商業施設等の駐車場を利用したパーク・アンド・ライドシステムを実施する。																			
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月）																			
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>○通勤時パーク・アンド・ライド駐車場収容台数（石川中央都市圏全体）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>収容台数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>2,056</td> <td>1,653</td> </tr> <tr> <td>R 6.3 時点</td> <td>1,373</td> <td>680</td> </tr> </tbody> </table> <p>○観光期パーク・アンド・ライド利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>収容台数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 6.5 / 3 ~ 5</td> <td>571</td> <td>569</td> </tr> </tbody> </table> <p>石川県建設総合センター、東金沢駅西口 P&R 駐車場、森本駅東口 P&R 駐車場、公設花き市場、中央卸売市場、ハローワーク金沢、旧金沢美術工芸大学の観光期の利用者数 (石川県庁、NTT 鳴和は、能登半島地震の影響により、一時利用停止) 評価：利用者アンケートではほぼ全員が「また利用したい」と回答しており、引き続き周知に努める。</p> <p>休日等パーク・アンド・ライド利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 6.4 ~ R 7.3</td> <td>22,338</td> </tr> </tbody> </table> <p>東金沢駅西口 P&R 駐車場、森本駅東口 P&R 駐車場の土・日・祝日の利用者数 評価：利用者数は順調に伸びており、引き続き周知に努める。</p>	年度	収容台数	利用者数	目標値	2,056	1,653	R 6.3 時点	1,373	680	年度	収容台数	利用者数	R 6.5 / 3 ~ 5	571	569	期間	利用者数	R 6.4 ~ R 7.3	22,338
年度	収容台数	利用者数																		
目標値	2,056	1,653																		
R 6.3 時点	1,373	680																		
年度	収容台数	利用者数																		
R 6.5 / 3 ~ 5	571	569																		
期間	利用者数																			
R 6.4 ~ R 7.3	22,338																			
事業の今後について	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤時パーク・アンド・ライド駐車場の整備、利用促進 ・通勤時、観光期等のパーク・アンド・ライド駐車場の取組を継続し、市内中心部の交通渋滞を緩和 																			

- ・歩けるまちづくり推進事業（金沢市、石川県、県警）

事業実施期間	平成 14 年度～【実施中】
--------	----------------

事業概要	地元と市長が「歩けるまちづくり協定」を締結し、構想具現化の取組に対して、各種支援を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月)
事業目標値・最新値及び進捗状況	協定締結地区へのフォローアップ等を実施し、歩けるまちづくりを推進している。 ・歩けるまちづくり協定締結地区 6 地区 ・まちなかアートベンチの設置 11か所 22 基
事業の今後について	・要望地区の状況調査 ・歩けるまちづくり協定フォローアップ ・まちなかアートベンチの維持管理

・モビリティ・マネジメント事業（金沢市）

事業実施期間	令和 3 年度～【実施中】
事業概要	幅広い層に向けて、過度に自動車に依存しない意識を育むための社会実験や講演等を実施し、公共交通機関を利用したまちなかへの来街や周回を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月)
事業目標値・最新値及び進捗状況	幅広い層に対して意識啓発を行った。 ・カーフリーデー来場者 3,000 人 (R6) ・高齢者モビリティ・マネジメント開催 1 回 30 人 (R6)
事業の今後について	・マイカーから公共交通への転換を啓発するカーフリーデーイベントを実施 ・学生・大学・交通事業者・行政が連携して、バスと公共シェアサイクル「まちのり」を組み合わせた公共交通の利用促進策を検討し試行する。併せて、学生自身が「まちのり」の運営に関わることを通じて、「まちのり」を切り口とした M M の担い手となることを目指す ・高齢者交通安全教室を活用し、高齢者に対してモビリティ・マネジメント講義を実施 ・商店街を中心にトランジットモールの社会実験を実施

目標達成の見通し及び今後の対策

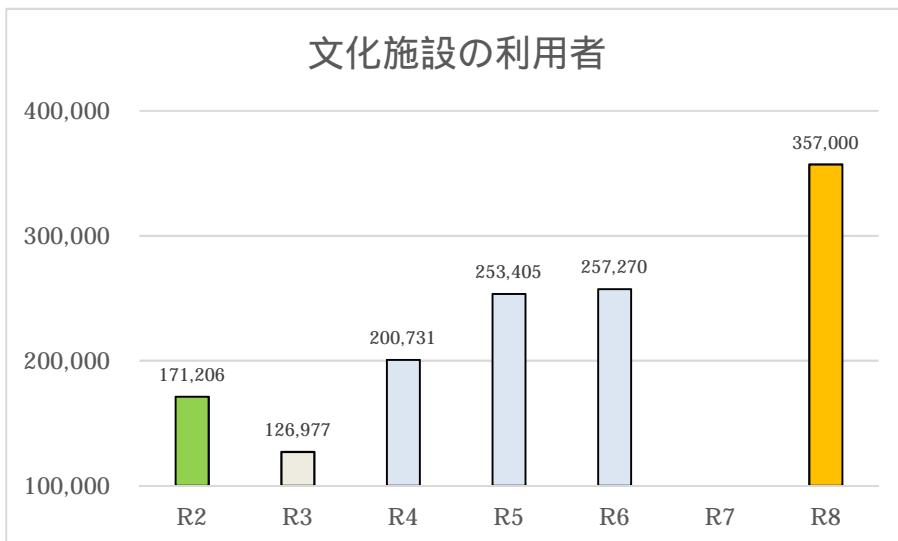
取組（事業等）の進捗状況は概ね予定どおりである。実績値について、新型コロナウイルス感染拡大後からバス等公共交通利用を避ける傾向もあり、新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準には満たないものの、公共シェアサイクル「まちのり」の利用増や、「通勤時パーク・アンド・ライド」等利用の堅調な推移により、回復傾向にある。令和 7 年度から第 3 期「まちのり」の運営を開始し、利用者のさらなる増加に向けた取組強化として、自転車台数やサイクルポートを増加しており、引き続き取組（事業等）の周知を図

り、施策を総合的かつ計画的に推進することにより、目標達成は可能であると判断する。

(4)「中心市街地の市文化施設(14施設)と金沢未来のまち創造館の利用者数」

目標設定の考え方認定基本計画 P.52 ~ P.54 参照

調査結果と分析

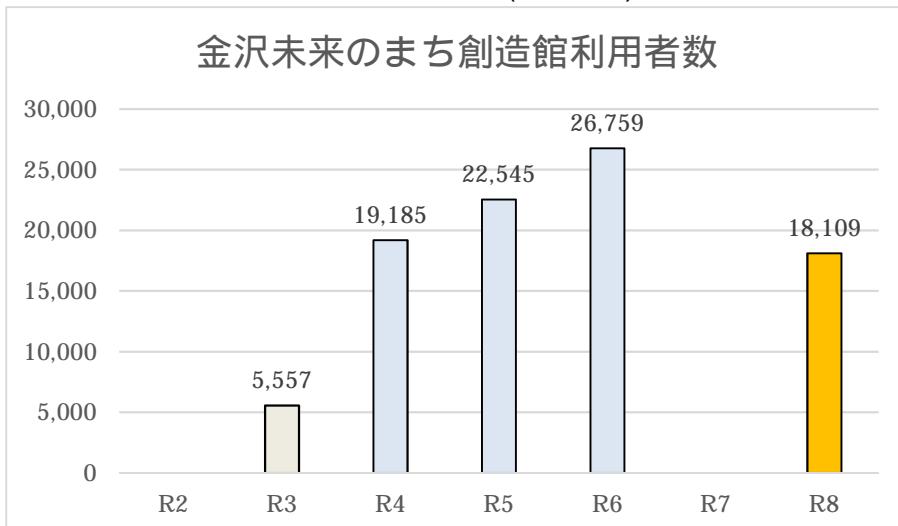


調査方法：利用者数を集計

調査月：1月～12月

調査主体：金沢市

調査対象：中心部の市文化施設(14施設)の利用者数



調査方法：利用者数を集計

調査月：4月～3月

調査主体：金沢市

調査対象：金沢未来のまち創造館の利用者数

分析内容

文化施設については、令和6年1月に発生した能登半島地震の直後、一部の文化施設を一時閉館するなど利用者数が減少したが、多彩な自主事業の開催やSNSによる積極広

報に加え、石川県観光連盟との連携したアニメスタンプラリー等の取組により利用者数が増加したものと推測される。

金沢未来のまち創造館については、令和3年8月の供用開始以降、様々なイベントの開催等により目標を上回る利用者数となった。

目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

. 文化施設活性化推進事業（金沢市）

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	文化施設への誘客を促進するため、文化施設の展示機能を強化するなど、金沢の文化を体験できるコンテンツ等を開発
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和4年4月～令和9年4月)
事業目標値・最新値及び進捗状況	区域内の文化施設(14施設)の来場者数 257,270人(R6) 評価：令和6年1月に発生した能登半島地震の影響もあり、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には戻っていないものの、イベントの開催等により利用者数は回復傾向にある。
事業の今後について	引き続き、本市の文化体験ができるコンテンツや金沢ミュージアム+(プラス)などのWebサイトにて魅力を発信し、来館とまちなかの回遊を促し、賑わい創出を図っていきたい。

. 茶の湯のまち金沢魅力発信事業（金沢市）

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	本市の茶の湯文化や茶室の魅力を発信するほか、全国学生金沢大茶会を開催する
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和4年4月～令和9年3月)
事業目標値・最新値及び進捗状況	全国学生大茶会における、参加校(大学茶道部9)及び参加者 参加校：23校 250人、茶席参加者：約1,700人(R6) 評価：台風接近のため、参加出来ない大学が3校あったが、2日間の日程で開催することができ、全国から多くの学生が参加した。
事業の今後について	引き続き、中心市街地に集積する茶席を活用し、交流人口拡大を目指していく。

. 金沢未来のまち創造館交流・創造推進事業（金沢市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	「金沢未来のまち創造館」を活用し、最先端技術を活用した新たなビジネスや食・工芸の付加価値の創出と子供たちの独創力の育成を推進する。

国の支援措置名 及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金(内閣府)(令和 5 年度～令和 8 年度)
事業目標値・最新 値及び進捗状況	○金沢未来のまち創造館利用者数 目標値： 18,109 人 R6: 26,759 人
事業の今後につ いて	価値創造拠点として各事業を推進していくとともに、それぞれの事 業を連携させて新たな価値の創出を図る。

目標達成の見通し及び今後の対策

昨年 1 月に発生した能登半島地震の直後、一部の文化施設を一時閉館するなど利用者数が減少したが、多彩な自主事業の開催や SNS による積極広報に加え、石川県観光連盟との連携したアニメスタンプラリー等の取組が、大きな効果をもたらし、全体をとおして前年よりも利用者数が増加したため、目標達成は可能であると見込まれる。

引き続き、取組(事業等)を進め、事業開催や情報発信を強化していくことで施設利用者のさらなる増加につなげていくとともに、今後も目標達成に向けた施策を総合的かつ計画的に推進する。

